

【指導上の留意点】 3ステップ 高校生の総合型選抜・学校推薦型選抜面接対策
③自己プレゼンテーション

導入時の説明内容

今何故、総合型選抜が増加しているのだろうか。総合型選抜が行われる目的をしっかりと把握し、その目的を達成するように努力するための指針が、今日の映像教材の視聴になっている。

今日の映像教材では総合型選抜の自己プレゼンテーションを学習する。映像教材を視聴するときの視点（ポイント）を学習した後に視聴する。

視聴後は、映像教材の内容をどれだけ理解したかを簡単なワークシートで判定するので、真剣に視聴させる。

視聴のポイント

1. 総合型選抜の目的を改めて考えさせる

総合型選抜では学力を見るのではなく、人となり、すなわち人物を見ようとする。
特に、人物の考え方、学習意欲、興味・関心、将来の生き方などを見る。

2. 自己プレゼンテーションについて学習する

（1）個人面接

必ず聞かれるのが「志望動機」である。

この志望動機で自己PR・自己プレゼンテーションすることが極めて重要。

志望動機を考えると、自己分析をどれだけ深く行ったかが鍵になる。

自己分析で自分の能力・技能、特性、興味・関心、意欲、夢、価値観、生き方などを確認させる。

（2）集団面接

同じ質問に対して1人ずつ順番に答えていくのが一般的である。

評価する側では、他の人と比較することができるので、いかに自分を印象づけるか、他の人の意見を積極的に取り入れた発言で協調性や課題解決になっていることを示すことも重要である。